

事業名

## 地域で育み、地域で支える 田原力

目標

教育力を高め、地域の力が子どもたちに生きる地域を目指す

### 1. 取組の視点

田原では、豊かな自然や伝統文化が地域の方の努力で現在にまで引き継がれてきています。幼稚園・小中学校は「ふるさとや自然を愛する心を育てる」「地域に伝わる文化や伝統を守り伝える」「豊かな心と確かな学力を身につける」を目標に様々な活動に取り組んでいます。本教育協議会では将来的に地域を支える人材の育成が大切であると考え、田原幼稚園・小中学校の目標に沿って地域としてできることを考え、学校園を支援していきます。「田原が好き」「田原に誇りを持てる」子どもの育成に全力をあげます。

また、子どもたちが安全に学校教育を受けられる環境を整え、今まで以上に学校力、地域力、教師力をアップさせていきたいと考えています。

### 2. 取組の概要

#### 【地域で支え、育てる環境づくり】

「田原の子どもたちは田原に住むすべての人で育てる」の考えのもと、いろいろな活動（毎日の交通安全立哨指導や田原ふれあい夢花壇と銘



ふれあい夢花壇

打つての花壇づくりなど）に地域の方が参加しています。また、地域活性化を目指した田原体育まつりは地域のイベントに各町の代表として小中学生も多数参加しています。

そして特筆すべきは「どんごが丘整美作業」と銘打った奉仕作業で、毎年夏休みを利用して実施し、児童生徒全員と保護者、地域教育協議会、有

志の方々80名ほどの協力を得て校内外の環境整備を行っています。この取組は地域と学校園が力を合わせて学校を盛り上げていくことを実感できる取組です。

#### 【田原力アップの取組】

田原小中学校は「文化遺産に学び、地域の歴史と伝統のよさに気づき、自分たちの町を愛し、郷土に暮らすことに誇りと喜びを感じることでできる子どもの育成」を目指しています。その目標を実現するひとつは、地域に伝わる文化や伝統を次世代に伝えていくことであり、そのためにも地域の力は欠かせません。田原地区には、伝統芸能保存会があり、その方を学校にお招きし、田原幼稚園、小中学校合同で祭文踊り・千本づき(餅つき)



祭文踊りに挑戦

など地域に伝わる文化や伝統を子どもたちに伝えています。

### 3. 成果と課題

幼稚園、小中学校は昔から地域に支えられた学校であり、大きな変化は生まれていないかも知れませんが、地域の方々に「学校づくりへの意識」「信頼関係」「教育の内容」が深まったように思われます。来年度に向けての課題として、現在の事業は特定の方々に依存しています。この方々は、地域でも多くの役職をかねておられることが多く、地域の活動も多く負担が大きくなっています。状況や年齢も考えれば、今後の活動を見越してさらに多くの人材の確保が必要となってきます。

事業名

## 未来に夢つなぐ一貫教育 TAWARA

目標

### 9年間の学びを再構築し、将来の自己実現につなげる

#### 1. 取組の視点

「9年間の連続性・継続性を生かした一貫教育を行い、豊かな心と確かな学力を身につけた世界にはばたく人間を育成する」を学校目標に、田原小中学校は小中一貫教育を進めてきました。この目標を達成するためには学校での取組はもちろん、地域との連携を大切にしながら取り組むことが必要です。豊かな心の育成にあたっては今後も地域との連携は不可欠であるが、さらに学んだことを発信することで田原小中学校の取組を知っていただき、双方向の連携を大切に活動を考えていきます。また9年間の一貫した学習活動を具現化し、将来にむけての生き方を考えるうえでキャリア教育を意識した活動も取り入れます。

#### 2. 取組の概要

##### 【小中一貫教育の特性を生かした取組】

これまで田原小中学校は前中後期の各ブロックの活動に重きを置き、上の学年にモデルを持つことを意識した活動を行ってきました。それは学校行事や各ブロックの行事を始め、日常生活のあ



らゆる場面で行っています。またブロックの枠をはずした異年齢集団による活動も豊かな心を育てる活動として定着しています。今年度は豊かな心の具現化としてこれま

でお世話になった地域に対して感謝の気持ちを込めてベンチを製作し、地域や老人ホーム等に置いていただきました。これは一方通行の「支援」からから双方向への「協働」と広げる第一歩となりました。



##### 【未来に夢つなぐ取組】

9年間の学びの連続性、継続性は将来に夢を持つことへとつながっていきます。田原小中学校は上の学年に自分のモデルを持たせることを意識させながら諸行事や学習活動に取り組んできました。いわゆるキャリア教育を考えながらの取組です。今年度はヨーヨーの世界チャンピオンや一条高校ダンス部にきていただき、技を見せていただいたり、お話を聞かせていただきました。話の中には、これまでの努力やこれからの夢も語っていただきました。

#### 3. 成果と課題

活動の広がり等を考える時、人との関わりの少なさが、将来への夢へとつながりにくいという小規模校ゆえの課題が浮かび上がってきます。

そんな中、この事業を通して様々な人と接する機会を得て、話を聞くことで様々な価値観があることを知り、それが将来に向けて自分の進路を考えるきっかけとなりました。次年度は積極的に外に出て、活動の幅を広げることができるよう計画しています。具体的にはこれまで英会話科や情報科で学んだ力を活用するため一条高校外国語科との交流や先端技術大学院大学へ見学に行くことを計画していきたいです。

事業名

## 田原を学び、田原に学ぶ「未来にはばたけ田原っ子」

目標

### 自然豊かな田原を愛し、伝統文化を次世代に引き継ぐ

#### 1. 取組の視点

田原小学校は、まわりを里山と茶畑と田畑に囲まれた落ち着いた地域です。太安万侶の墓地があることでも有名であり、また全国で唯一「祭文」が残されている地区でもあります。室町時代に始まった「祭文」は奈良県の無形民俗文化財に指定されています。伝統や文化だけでなく自然環境もすばらしく、カンヌ映画祭でグランプリに輝いた河瀬直美監督の「殯の森」のロケ地になったのも有名な話です。このように、田原では豊かな自然や古い文化が残され、大切に守られてきています。しかし、過疎化が進み子どもたちの数も年々減ってきているのも事実です。

このような状況のなか学校においても、田原小中一貫教育校としての9年間の長いスパンの中で、子どもたちを見守り、地域とのつながりを大切に「ひと・もの・こと」の関わりを通して、ふるさとや自然を愛する心を育てる取組をすすめることが大切であると考えます。

#### 2. 取組の概要

##### 【伝統文化の継承】

田原地区は豊かな自然や伝統文化が残され、大切に守られてきています。田原小中学校では、「地域の歴史と伝統のよさに気づき、自分たちの町を愛し、郷土に暮らすことに誇りと喜びを感じることでできる子どもの育成」を目指しています。その



のためにも、地域に伝わる文化や伝統を次世代に受け

継ぎ、伝えていくためにも地域の方々の力は欠かせないと考えられます。

子どもたちにも興味を持って取り組めるような体験的な活動を中心に、保護者・地域・お年寄りの方などから伝統芸能や、昔遊びを教えてくださいました。具体的には、幼小中合同運動会に向けての祭文踊りや祭文語りの練習、また本番での祭文踊り、新年集会での千本づきによる餅つき、小学生の総合的な学習の時間や生活科、郷土「なら」科を活用しての校区探検、調べ学習などです。

##### 【未来にはばたけ田原っ子】

今年度は小学校でのキャリア教育の一環として「夢・挑戦」と銘打って夢を持つこと、夢に向かって挑戦することの大切さを知る機会としてヨーヨーの世界チャンピオンや一条高校ダンス部にきていただき、それぞれの生き方や将来にむけての夢を語っていただきました。



#### 3. 成果と課題

これまでも様々な体験活動を通して、田原の伝統芸能や文化について教えていただくことが多かったが、今年度は学んだことを地域に発信していく活動を展開することができました。そのことで田原のよさに気づき、文化や伝統を守り、郷土を大切にしていこうという気持ちが育ってきています。また、この事業を通して多くの方の生き方にふれることで児童生徒はこれからの生き方にひとつの指針をもつことができました。今後児童生徒にできるかぎり、多くの機会を捉えて「ひと・もの・こと」にふれることができるよう考えていきたいです。

事業名

## 田原シャイニングプラン

目標

全ての活動において田原っ子の目が輝くようにする。

### 1. 取組の視点

- ・“おもしろ・もっと・やった”と子どもが目を輝やかせて活動できる環境作りをする中で、子どものやる気や根気を培っていきます。また共感したり、認めたり、子どもの良い面を“花咲き山”などの掲示物を使って視覚に訴えるようにしたりし、自尊感情を育てます。
- ・様々な描画材料を使ってダイナミックに活動し、表現する喜びを味わいます。
- ・栽培活動を通して、育てる楽しさや自然の不思議さ・収穫の喜び・食への関心を育てます。
- ・地域の文化に触れ、様々な感動体験をする中で、地域の方々との暖かい触れ合いをします。

### 2. 取組の概要

本年度は、年少児1名のスタートとなりました。年少児の子どもが、家庭的な雰囲気安定して遊べるように、ままごとセットを保育室に常駐し、すぐに遊べるようにしました。このように1学期間したことで、子どもは、毎日喜んで遊び明日への期待をもって降園するようになりました。今もお菓子や料理作りは続いています。また、自尊感情を育む環境を整えたことで“自分っていいな”と思って行動している姿が多くなってきました。



表現活動では、のびのびと表現できるように絵具

を多めに購入し、ペンキ屋さんになって未就園児と一緒に色塗り遊びをしました。回を重ねる毎に



描きたいものを大きく表現し、描く喜びを味わう姿が見られました。作品展には、100人程の観客の方々の感想を見ることができ、自尊感情の助長に繋がったと思います。

栽培活動では、子どもと共に考えた色々な野菜苗や種を植えました。稲は田圃作りから初め、田植えや稲刈り・脱穀などを楽しみ、五合のお米を炊いて皆でいただきました。収穫の喜びや、田圃に住みついた生き物など感動の連続でした。併せて、食への関心も出てきています。園児1名という現状のため、地域の人材・文化・自然などに積極的にかわり、筍掘りやせんべい教室・田原太鼓体験・りんご狩り・あじさい園との交流など、かけがえのない経験でした。

### 3. 成果と課題

遊びの充実や自然環境・人間関係・表現活動の充実を図り、子どもの健やかな成長を見守ってきました。そのことにより、自分から進んで楽しかったことなど、話すことが多くなってきています。また自尊感情の芽生えも培われ「自分っていいな」と思える共感や認めなどに対して素直に喜び、多くの人の中でも自分らしく表現できる姿が見られるようになってきています。しかし、園児の少なさ本園の課題です。